

「ミラクルな存在を 受けとめて」

校長 堀岡 満喜子



本校の校長となり、何度も繰り返してきた言葉があります。「あなただからこそできることが必ずある」「あなたにしかできないことが絶対にある」「あなたならではのやり方がきっとある」…「あなた」と、ひとりの人に呼びかけることを大事に思ってきました。

本中学校は、高等学校と同じ校舎にあり、高校生に见守られながら一緒に過ごすことが多い学校です。その意味では、1000人規模の学校と言ってもよいのです。でも、「あなたは決して“1000分の1”ではない!」と伝えたいと考えてきました。本校は建学以来、他に代え難い「あなた」と、一人ひとりについて真剣に受けとめてきたからです。

同じキリスト教学校の仲間、「自由学園」があります。この学園の創設者であり、『婦人の友』を創刊した羽仁もと子は、真摯にキリスト教信仰に生きた人でした。彼女が「赤ん坊」を見つけた詩があります。

今、生まれしみどり児 羽仁もと子

めでたきものは 今、世に來たりしみどり児。
大いなるものの創造のみ手をはなれて遠からじ。
父に似し母に似し兄に姉にとささめく前に、
新しき生命に現われている神のみ業をみつめよう。

みどり児のめでたさは、その絶対の独自さである。

親やこの世の型の外にあふれている

その輝く自由さである。

絶対に自由な生命、独自なる生命、

それが親々のいのちを通して

この世にあらわれて來た光榮を思おう。

親に人に私たちの見なれた型は、

みどり児の新しい生命の外側に

深く刻みつけられている。

私たちはそれを見て、

あまり喜んだり

悲しんだりすることをやめよう。

今、生まれしみどり児の

内なる光はめでたいものである。

絶対にめでたいものである。

「その絶対の独自さ」、「絶対に自由な生命」を私たちも見つけています。これは、神がこのひとりの人を、自分の瞳を守るように大事にご覧くださることから本校の見方です。全宇宙の創造者である神に、大事に「あなた」と呼ばれる「わたし」。この貴重さに気付かされる時、私たちは初めて、自分がどんなに美しい奇跡(ミラクル)な存在であるかを知るのです。

本校は、生徒「ひとり」の価値がどれ程のものなのかを知っています。だから、「あなただからこそ」と思うのです。そして、「あなた」の名を掛け替えなく呼ぶのです。



★第49回金沢市中学校新人陸上競技大会
【1年走り幅跳び】
3位 1年 東田 向茉莉

★加賀地区中学校新人体育大会陸上競技
【1年走り幅跳び】
4位 1年 越原 椿

2年 森口 純樹

★第71回金沢市中学校夏季陸上競技大会兼県体予選

【1,2年走り幅跳び】 2位

【1,2年100m】 7位

★第49回金沢市中学校新人陸上競技大会【共通400m】 2位

★高円宮杯第70回 全日本中学校英語弁論大会 石川県大会

第1位 3年 原嶋 空

2位 3年 越原 椿

★第12回京都バレエコンクール

P.B.K アンサンブル部門

【グループの部】

3位 3年 石野 瑞葉

★石川県川柳協会第26回 石川県

小・中学生川柳作品

入選 2年 川端 星衣架

1年 中田 翔

1年 早崎 愛

★第34回宮村英語奨励賞

受賞 3年 ウッドハムズ小津 仁花

3年 原嶋 空

★第20回シヨパン国際

ピアノコンクール

in ASIA アジア大会 中学生部門

奨励賞 2年 矢崎 紫

★第9回子ども絵画コンクール

審査員特別賞 2年 鈴木 初寧

★北陸学院英語教育研究支援センター主催

第1回英語レシテーション発表会

理事長賞 2年 鈴木 初寧

バトントワリング部(中高)

★第30回バトントワリング北陸大会

銀賞 全国大会出場!

沖縄 修学旅行

4/24(火)~27(金)

Trip to Okinawa



私は、この修学旅行でたくさんのことを学んだ。その中でも「命の重さ」は私の心に深くつきささった。私は「死ね」と軽く言うところをよく見かける。戦時中は国のために「死ね」と言われれば死んでいたようだ。自分の大切な人が戦争で死んでいく中、軽々しく「死ね」と言う人はいなかったはずだ。今と昔の状況は違えど私たちは「命の重さ」について真摯に考えるべきだと思う。「命の重さ」を実感した今、命の在り方をもう一度見つめ直したい。

3年 西口 真功



演劇 コンクール



7/20(金)

演劇コンクールは、特に盛りあがりを見せる行事です。今年優勝したのは3年生。細かな動きまで考えられ、感情のこもった迫真の演技や歌が観客を魅了しました。最上級生の姿を見た下級生は、来年に向けたモチベーションが高まったはずで。

INTERVIEW

3年
原嶋 空 さん



私はジャン・バルジャン役を演じました。彼のさまざまな葛藤をセリフや動き、視線などでどのように表現するかが難しかったです。セリフを印象づけるための工夫などクラス全員で考え、話し合うなかで、互いを認め、尊重しあい、結束が強まりました。当日はクラス全員が全力で、楽しみながら演じ、「感動した、中学校最後にふさわしい劇だったね」などと言葉ももらえて嬉しかったです。

1年「君の隣をたべたい」



2年「ピーターパン」



3年「レ・ミゼラブル」



ミッション祭

8/30(木)・31(金)



私はミッション祭を通してたくさんのことを学び、楽しむことができたと思います。中学生は、ミッション祭で、ゲームコーナーと、展示を行いました。

展示では、『食糧』というテーマについて生徒一人一人みんなが調べ学習を行い、世界の食糧問題について考えました。そこで私たちが知らないところで、食べ物がなく苦しむ人がいることを知りました。いま私たちに何ができるかを考えたときに、この現実を少しでも多くの人に知ってもらいたいと思いました。そして、ミッション祭に来てくださった方々に世界の食糧問題について知ってもらえたことができた。

また、ゲームコーナーでは、それぞれが責任を持ち、接客を行っていたと思います。接客を行う機会は、普段はあまりありませんが、先輩後輩互いに協力し合い、責任をもって行動するということが学べたのではないかと思います。

ミッション祭は、『祭』という漢字が入っていることもあり、楽しむことがメインだと思っていましたが、いろいろなことを学ぶこともできた、貴重な経験になりました。

3年 小林夏帆

運動会

9/29 (土)

赤団

団長 3年
ウッドハムズ小津仁花



運動会当日、不運にも天気にも恵まれず、今年は体育館で行われました。団体競技では負けが続いて、お世辞にもいい空気とは言えない中、強気な発言で周りの仲間を笑顔にしている団員たちの姿が見られました。彼らのおかげか、団対抗リレーでは気合の入った応援に背中を押された赤団が勝利し、みんなで喜びを分かち合いました。私にとっても、広い運動場でたくさんの勝利を味わうという理想の筋書きではありませんでしたが、どんな状況であっても全力で楽しむことができたのは赤団の団員だったからだと思います。赤団の皆さん、短い練習期間で一生懸命ついてきてくれてありがとう。

団長を引き受けたとき、みんなを引っ張っていこうと思う反面、自分に出来るのだろうかという不安もありました。でも、1・2年生が、全員でダンスの練習をしたあとも残って、3年生に教えてもらったポイントや振り子を何度も確認している姿を見て、みんなを信じることの大切さを学び、引っ張るということはこういうことなんだなと思いました。みんなが一つになったおかげで応援賞・総合優勝を勝ち取ることが出来ました。1・2年生はもちろん、うまくまとめられないときや、悩んでいるときに話を聞いてくれて支えてくれた3年生には感謝してもしきれません。最後の運動会、体育館に青団の声援が響き渡りました。青団のみんなありがとう!!

青団

団長 3年
中工侑美

総合優勝



カナダ 7/27(金)-8/9(木)
短期海外研修

「積極的にコミュニケーションを取り、異文化に触れる」という目標を持って、短期海外研修に参加しました。カナダの人はみんな友好的で親切でした。カナダは誰にでも気軽に挨拶する習慣があります。教会へ行ったときは、初めて会う日本人の私にもたくさん声をかけてくれました。私も積極的に話しかけました。日本とは違うカナダの素敵な文化だと感じました。

豊かな緑に囲まれた場所にホストファミリーの家がありました。折り紙や習字と一緒に日本の文化を紹介しました。ホストファミリーは、牧場や海などいろいろな場所へ私を連れて行ってくれました。カナダの大自然を肌で感じることができました。ホストファミリーに感謝の気持ちや想いを伝えたかったけれど、英語で表現することは難しく、自分の英語の力はまだまだだと痛感しました。今回の研修を通して世界の人とつながる英語の力を身に付けたいと思いました。

2年 竹島 晴萌

高円宮杯全日本中学校英語 11/28(水)-30(金)

第70回
**高円宮杯全日本
中学校英語弁論大会**

私の高円宮杯は、原稿を考えることから始まりました。たくさん先生方に助けていただきながら、「今の私が伝えたいことは何なのか」を自分と向き合いながら考えました。そして自分の経験から感じたことを交えながら「ほんとうの優しさ」について話すことになったのです。

原稿ができてからは、練習漬けの毎日でした。アクセントや発音に気をつけるのはもちろんですが、それ以上にスピーチを自分のものにする必要があるのです。ハードな練習を重ねるうちに、私は英語を話すことが楽しくてたまらなくなりました。それは自分の意見を英語で伝えることの素晴らしさに気づいたからです。そしてめかえた本番は、今までで1番のスピーチができ、大きな達成感を味わえました。

私はこの高円宮杯で結果よりも大切なものを得られたと感じています。それは、自分と向き合う中で、英語でコミュニケーションをとることの素晴らしさに気づいたこと、そして指導して下さった先生方や応援してくれた家族・友達への感謝の気持ちです。高円宮杯で学んだことを宝物にしてこれからの歩みに生かしていきたいと思います。

3年 越原 椿

宗教委員会活動

宗教委員は、現在51人の宗教委員、会員のもとと活動を行っています。「皆が進んで関わっていける宗教活動」をもとに、北陸学院中学校の中心となり、協力し合いながら宗教行事に取り組んでいます。

5月には、花の日礼拝を守っています。皆でお花を持ち寄り、そのお花を見ながら神様の恵みに感謝して礼拝を守ります。放課後には、介護福祉施設を訪問し、お花と讃美歌のプレゼントをして恵みを分かち合いました。8月には、ミッション祭で世界の食文化と食糧問題について皆で調べ学習をし、展示を行いました。そこではた

くさんの献金が寄せられました。いただいた献金は「こだつのクローバー」という団体に寄付させていただくことができました。11月には、収穫感謝礼拝を守りました。皆で果物を持ち寄り、近くの保育園に持っていき秋の实りを分かち合うことができました。子どもたちと礼拝を守っていたときの子どもたちの喜んでいた顔が印象的でした。

こうして宗教委員会では、「互いに愛し合いなさい」と聖書に書かれているように、神様がこの世にもたらして下さった尊い恵みを分かち合い、同時にその喜びも分かち合おうという気持ちで活動しています。そのため、学校内に限らず学校外でもさまざまな取り組みを行っています。

2年 川端 星衣架